

大地を撫でる

created by 野村穂貴

(東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 学部3年)

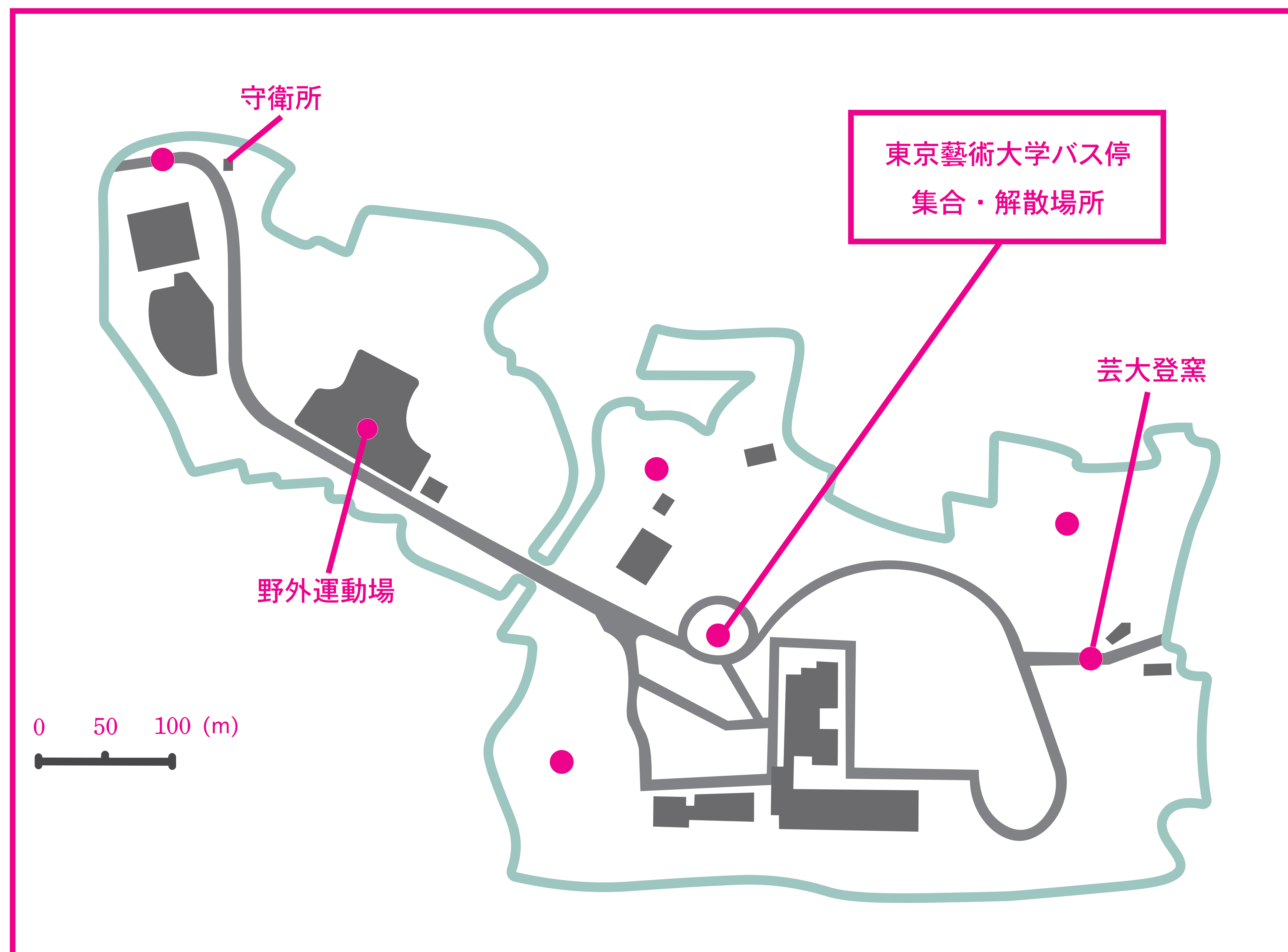
この作品は、2024年11月23日・24日に開催された取手藝祭内企画「先端芸術表現科学部2・3年生合同成果展 羽化することのエチュード」にて発表されました。

集合場所に集まった参加者は、本作家である野村穂貴と、その語りと共に取手キャンパス全体を1時間ほどかけてみんなで歩きます。そして、そこかしこに落ちる枝などを拾い、「道標」としてまた道端に建てます。この「道標」を建てるというアイデアは、取手の坂道愛好会との運命的な出会いによって生まれたものなのです。

本展示では、本作が出来上がるまでのプロセスに重きを置きながら、両日計6回行われた『大地を撫でる』のアーカイヴを残します。



- 本作で訪れた地点（取手キャンパス内）



制作のきっかけ

野村の経験した事柄から、『大地を撫でる』の枠組みはできています。中でも、

1 坂道愛好会の道標発見

2 過度な街歩き

3 ウガンダ渡航

という出来事が本作の土台になっています。

とにかく歩くことが好きです。土砂降りの中、取手から土浦まで40キロ歩いたこともあります。

ある時、歩いている感覚が大きな獣の背中を撫でているようだと感じたことがありました。

手のひらでは足りないから、優しく踏みしめているようだったのです。

今度は一人ではなく、みんなで大地を撫でたいと思い、この作品を構想し始めたというわけです。

作品の流れ

坂道愛好会との出会いが語られる

知らないウガンダ人の老婆と孫が私にカントリーロードを演奏し
歌ってくれた経験が語られる。

定刻に
バス停横に集合

語りを聴いて
物を拾う

気になる場所
に建てていく

みんなで温か
いお茶を飲む

獣道を
ゆく

カントリーロード
を歌う子どもたち
に出会う

キャンパス内のウガンダみたいな場所に到着すると、ウガンダ当時、
倒れそうな時にウガンダ人から温かい飲み物をもらった
エピソードが話され、お茶が配布される

バス停横に帰宅



「取手の坂道愛好会」という道しるべ

取手を散策していた時、急峻なその大地にある良い坂には必ず「道標」が建ててありました。そこには坂名とともに「**取手の坂道愛好会**」と書いてあったのです。しばらく歩き、また良い道と坂に出会った時、同じように道標を見つけました。

興味が出て、インターネットで調べると膨大なアーカイブを発見します。そこで**名のない坂に名前をつける**活動を知り、甚く感銘を受け、その日のうちにメールを送りました。会長の酒井達夫さんからお返事があり、やり取りを重ね、藝大食堂にてお話を伺う機会をいただきました。取材を経て**自分たちで見つけた場所を、見つけた何かで「道標」にしていく愛好会の手つきが、『大地を撫でる』の基盤にもなった**のでした。



藝大 TAP 包括ディレクター羽原康恵さん(右)が学生の頃から、取手の坂道愛好会（右中央：酒井さん、左中央：渡邊さん）とはお知り合いだった。

取手での出会い

ウガンダ人の見ず知らずのおばあちゃんと孫が、私のためにカントリーロードを歌ってくれたという経験があります。

そこから着想を得て、クライマックスの地点で**取手少年少女合唱団**の方々に「カントリーロード」を歌っていただきました。子どもたちの歌、ひいては音楽そのものがもつ力は大地を撫でることに必要不可欠な存在でした。



1 日目最終回が終わった時の写真



2 日目最終回が終わった時の写真

偶然の発見やちょっとした驚きを手繰り寄せて、
様々な方のお力を借りながらこの作品はできています。知らない人と共に大地を撫でて、道標を建て、
音に包まれて帰ると、それまで見ていた風景が異なって立ち込めるのです。

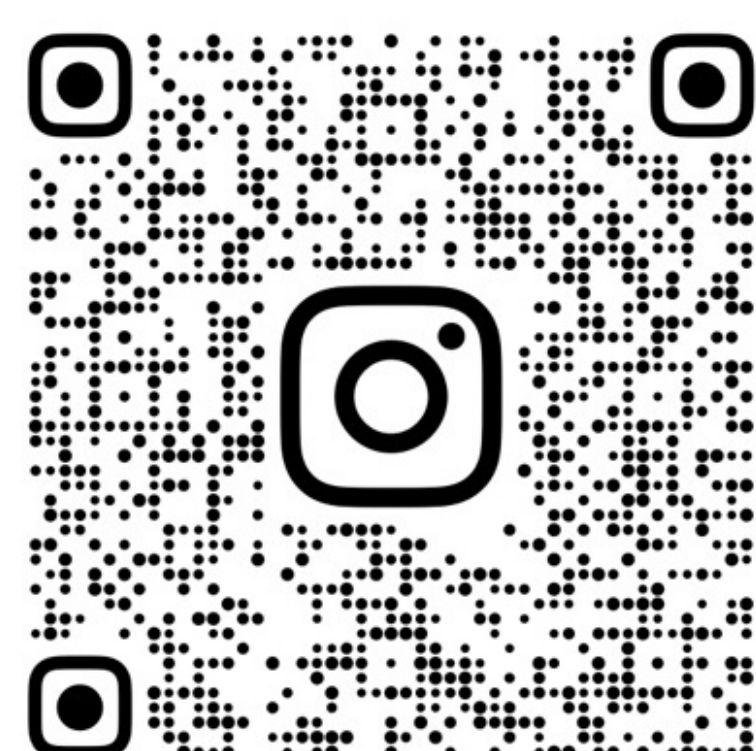
作者



取手藝祭にて、with 坂道愛好会 会長酒井達夫さん

のむら ほだか
野村 穂貴

2002 年 神奈川県生まれ
2022 年 東京藝術大学
美術学部 先端芸術表現科
入学
現在、先端芸術表現科
学部三年在籍



@ALAN.SMITHEE_

ここ最近では、歩くことを様々な他者との
「対話」的営みと捉え制作している。
絶えず一貫していることは、制作の中で
「私と何か」の関係性の変化を扱うこと
と、他者という存在への強い関心にある。



ほぼノーカット・アーカイブ映像
はこちらからご覧になれます。

『大地を撫でる』に 協力してくださった 皆様

敬称略

フライヤー・地図デザイン：岩館君佳

撮影：川村愛、竹下恭可

演奏：石井絢彩、

取手少年少女合唱団の皆様

ひなき、きいちろう、(せ) ふうか、

(あ) ふう、めいさ、みき、はるき、なえ、
まな

取材協力：羽原康恵、

取手の坂道愛好会の皆様

会長 酒井達夫・副会長 渡邊桂助

並びに参加してくださった鑑賞者の皆様